

2024医療連携講演会のご案内

9/19(木)に千葉歯科医療センター医療連携講演会を開催いたします。
 場所は、京成ホテルミラマーレ(千葉市)6階「ローズルーム」にて、18時～20時までの2時間を予定しています。昨年は153名と多くの先生方にご参加いただき、盛會理に講演会を行うことができました。本年も詳細が確定次第ご案内申し上げますので、ご参加を希望される方は、以下のURLまたはQRコードより、参加申し込みをお願いいたします。ご多忙とは存じますが、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

<https://forms.gle/6kKQC2J84geoKpvq6>



医療連携講演会
参加申込票



<昨年の様子>

医療連携機関 ご登録のご案内

当センターは、地域の医療機関と協力し、患者さんに良質で高度な医療を提供するため、医療連携協働機関の登録制度を設けております。この取組みにご理解いただける医療機関におかれましては、以下のURLまたはQRコードより、「医療連携登録制度登録申請書」に必要事項をご記入のうえ、ご送信ください。ご登録後、医療連携登録証および医療連携登録盾(A5サイズ)をお送りいたします。ご登録後は、当センター内図書館および駐車場がご利用いただけるほか、講演会のご案内、口腔がん検診の実施や広報紙「CDC PRESS」の送付など、当センターの情報提供や各種相談に対応しています。ぜひともご登録をお願いいたします。

<https://forms.gle/Da3ZHQYvYwsr2kbM9>



<医療連携登録申請書>

CT、CBCT等、画像撮影をご利用ください

より良い医療連携のために開業医の皆様からの画像撮影依頼に対応しています。ホームページよりPDF「画像検査依頼書」をダウンロードしてご記入いただき放射線部門へ電話でご予約をお取り下さい。

TEL:043-270-3907(歯科放射線科直通) 9:00~17:00



<画像検査依頼書>

患者紹介について

当センターは原則、予約をいただいた紹介患者様を優先して受け入れております。医療機関の先生方は「診療情報提供書(紹介状)」にご記入頂き、患者様より「医療連携室」にご連絡して頂けますようお願いいたします。
 ※急患の方は随時受付いたします。

TEL 043-270-3279

FAX 043-270-3648

利用時間 平日 9:00 ~ 17:00

診療情報
提供書
(紹介状)



東京歯科大学千葉歯科医療センター

東京歯科大学千葉歯科医療センター 医療連携室 発行
 TEL 043-270-3279
<https://www.tdc.ac.jp/ch/tabid/300/Default.aspx>



ホームページ

CHIBA DENTAL CENTER PRESS

VOLUME
03
FREE MAGAZINE

CONTENTS

- 01. センター長、副センター長のことば
- 02. 新任病院教授・診療科系部長の紹介
- 03. 各種ご案内

求められる形へ、常に変化していきます

センター長 片倉 朗

2021年の開院以来、地域医療への貢献と開業されている先生方の後方支援という使命を掲げ、全身疾患をお持ちの方や障害のある方への対応、在宅ならびに訪問診療の支援に力を入れ、適切な歯科医療サービスが提供できるよう公共性を担保した運営を心がけています。現在は40台のチェアを中心に専門性の高い治療も行い、1.5~2次医療機関としての機能を有しています。また、臨床研修歯科医の教育にも力を入れています。

これまでに多くのご意見、ご指導を頂き、様々な課題を解決してまいりました。しかしまだ全員が満足できる形ではないとも思っております。今後も改善できる点はすぐに着手し、スムーズな運営を目指してまいります。

より良い医療連携体制の構築のため、今年も新たな気持ちにてスタッフ全員で歩んでまいります。どうか今後ともお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。



副センター長
伊藤 太一

センター長
片倉 朗

副センター長
大神 浩一郎

副センター長
安部 晴美

歯科衛生士初の役目を、精一杯務めます

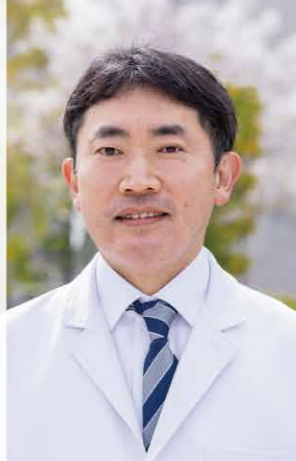
副センター長 安部 晴美

この度、副センター長という大役を頂き、身の引き締まる思いです。これまで歯科衛生士長として40名を超える歯科衛生士それぞれの個性が輝くよう管理、調整し、患者様のニーズに沿った歯科医療の実現のために細やかなサポートを行ってきました。これらの経験を活かし、歯科衛生士ならではの目線でセンターの

運営に貢献していきたいと考えています。歯科衛生士初の副センター長就任の重責を胸に、患者様に寄り添い、研鑽を怠ることなく高度な歯科医療が提供できるよう日々努めてまいります。宜しく申し上げます。

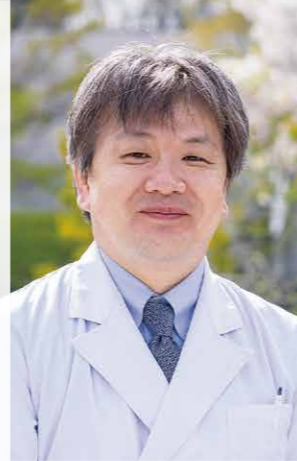
新たな病院教授・診療科系部長です。

病院教授 石井 武展 (矯正歯科)



矯正歯科は若年者対象と思われがちですが、実際には年齢は問わず、近年ではより良い補綴治療や歯周病治療の適切なコントロールを目的とした矯正治療が求められるようになりました。歯並びを整えることでその他の治療の質も向上できる、矯正治療は予防の最たるものであると考えます。当センターには30名以上の矯正歯科医師が在籍し、県内随一の患者数を誇ります。多くの症例を見ているからこそ、個々の患者様の要望に沿った繊細な治療ができ、難症例でも理想的な治療が可能です。また、顎変形症や唇顎口蓋裂、前歯および小臼歯の永久歯のうち3歯以上の萌出不全に起因した咬合異常などは保険診療も可能です。患者様、先生方とともに、良質な地域医療連携を築き上げていきたいです。

病院教授 伊藤 太一 (口腔インプラント科)



大学院生時代に出会った口腔インプラントの論文に感銘を受けて以来、その道を極めるべく治療および研究に邁進してきました。日本で初めて口腔インプラント治療を導入した東京歯科大学では、大学医療機関としての特色と利点を最大限に生かし、最先端の技術を駆使した口腔インプラント治療を提供できるように環境、体制を整えて患者様をお待ちしています。歯を失った方の咀嚼障害や審美障害などの改善方法として、口腔インプラント治療は適切な選択肢であると考えます。先生方の患者様で、口腔インプラント治療をご検討されている方がいらっしゃいましたら、遠慮なくご紹介ください。患者様そしてご紹介いただいた先生方に満足いただけるような治療を提供してまいります。

病院教授 大神 浩一郎 (総合診療科)



高齢化が進む中で、適切な補綴治療や口腔機能管理はますます重要となっています。咀嚼機能の維持や改善が全身の健康に影響することは周知の事実です。そのため、「オーラルフレイル」と呼ばれる高齢者の噛みにくさや食べこぼし、むせなどの症状に対し、口腔機能精密検査を行い、適切なアプローチを行うことで口腔機能の維持・改善が栄養状態の維持につながり、フレイル予防や介護予防をサポートすることができます。当センターでは、最新の知見を活用した検査・治療体制を整え、治療を提供しております。多くの患者様やご紹介いただいた先生方のニーズに応えられるよう、専門性の高い補綴治療に加えて口腔機能管理のより良い提案を行ってまいります。

病院教授 大久保 真衣 (摂食嚥下リハビリテーション科)



嚥下障害を身近に感じる出来事があり、歯科医師として積極的に関わることができるこの分野を進路に据えて今日に至ります。「誰もがおいしく食べられるように」を胸に、赤ちゃんから高齢者までを広く対象として、外来診療はもとより訪問診療も積極的に行っています。かかりつけ歯科医の先生方の診療を軸として、必要な場合にはご紹介いただくなど、効率よく気軽に連携していきたいと考えています。また口腔機能発達不全症や口腔機能低下症などの気になる症状があれば、専門的評価と支援を行うことも可能です。さらには、もしもに備える「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」の支援も行っています。摂食嚥下にまつわる様々な支援のかたちを取り揃えて、地域医療の一翼となれるよう努めたいと思います。

これからも地域の先生方との円滑な連携を具現化するために努力し続けます。

病院教授 富田 幸代 (保存科)



歯周治療においては口腔清掃やSRPだけでなく、う蝕、抜歯、補綴といった様々な治療を集約的に行う必要があります。また、なかには口臭に悩んでいる患者様も多く、それらの対応も求められます。当センターでは、水道橋病院と連携して高度な治療を提供するとともに、患者様の状態に応じて全身管理下での歯周治療にも対応しています。専門性の高い治療は当方で行い、メンテナンスはかかりつけ歯科医の先生方にご対応いただくなど、多様な連携を実践していきたいと考えています。また、東京歯科大学3医療機関の中で唯一「口臭外来」を設置していますので、患者様の悩みの解決に向き合いたいと考えています。先生方と患者様の診療情報を有効に共有し、医療連携体制を強化して歯周治療にあたってまいります。

病院教授 久永 竜一 (補綴科)



患者様にとって、咬合の不調和は大変なストレスです。当センターは、時間をかけて患者様のお悩みを聞き、安心して問題が解決するよう対応できることが大きな強みです。また歯科麻酔科と連携して静脈内鎮静法や全身麻酔を併用しての治療ができるので、全身疾患や障害をお持ちの方などへの幅広い対応も可能です。その他、補綴難症例の患者様などがいらっしゃれば、ご遠慮なくご紹介ください。その際、フレキシブルな治療を行うために先生方からの情報提供を大切にしています。治療内容のみならず包括的な患者様のエピソードも共有頂ければ幸いです。患者様には行ってよかった、地域の先生方からは紹介してよかったと思って頂けるよう、さらに研鑽を積んでまいります。

口腔外科系部長 講師 岩本 昌士 (口腔外科)



口腔外科医の父の背中を見て育ち、その姿を目標に掲げ、口腔外科分野の専門性を深めてきました。当センターでは、外来小手術から入院加療が必要な症例、矯正歯科と連携した顎変形症治療などあらゆる治療に対応しています。障害のある方や低年齢のお子様には日帰り全身麻酔治療を積極的に行い、ご家族をふくめ皆様に安心していただけるよう対応しています。粘膜疾患の精査や腫瘍など緊急性が高い症例には、可能な限り迅速に対応したいと考えています。急を要する場合、先生方から直接お電話をいただくとスムーズに対応できますので、お手数ですがご一報いただけますと幸いです。部門長として、1人ひとりの医療の質を向上させるべく若手の指導を密に行い、誰が担当となっても患者様に満足いただける医療を提供していきたいと思ひます。

紹介状Q&A
皆様から寄せられる
ご質問にお応えします



鎮静下での歯科治療を依頼したい場合、
何科宛に書けば良いでしょうか。



紹介状は「歯科麻酔科」宛にお書き下さい。治療内容によっては水道橋病院で対応することがございます。外科処置は、鎮静下での治療希望の旨を記載し「口腔外科」宛にお書き下さい。